
この物語はフィクションです。

紅 あげは

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

この物語はフィクションです。

【Nコード】

N5690C

【作者名】

紅 あげは

【あらすじ】

時事ニュースを持つに繰り広げる、ブラック短編小説です。

1 回目のニュース（前書き）

あくまでもあくまでもフィクションです。

1回目のニュース

フィクションその1

「平成の大横綱！！朝青龍の独り言。。。」

オレは、不満だね。大いに。

テレビも地デジで多チャンネル。

ネットでは、世界の情報が一瞬で目の前に広がる、こんな時代に。

相撲界だけは、明治時代か。。。？

「横綱」は、品格を重んじる、だって？

どんなスポーツだって、勝ち続けたものがチャンピオン。
オレは、勝ち続けたから、横綱になった、そんだけの話。

品格だなんだ、ごちやごちや言われたって。

オレはまだ26歳。

やんちゃしたって、普通じゃないの？
ていうか。

誰だって、仕事離れたら、プライベートだろ？

横綱だって、「仕事」だぜ。

だから、普通にオフな時があって、何がいけないんだ？

仕事にしたって。誰だって、「サボりたい」時ぐらいあるだろ？
そーゆー時。

「腹痛で休みます」とか、さ。
仮病使って休むじゃん。

オレだけ、何でこんなに、バッシングされちゃったりすんの？

ま、モンゴルでチャリティーサッカーやったのが、
バレちゃったのは誤算だったけど。

そんなんだって。よくあることじゃん。

町を見てみるよ。

出張だってウソ言って、愛人と旅行してる男が、何人いるよ？

相撲界は、異次元空間だね、マジで。

謹慎ってか。冗談じゃない。

もーいや。

やめた、やめた、やめた、やめた！！

鬱病の振りして、モンゴルに帰ろうつと。

やってられないよ、相撲なんか。

ぶっちゃけ。

相撲とるのも、だいぶ飽きてきちゃってたし、さ。

もつとぶっちゃけると。

今まで稼いだ金で、モンゴルでビジネスも拡張してるし。

そっちのほうで、仕事として、面白そうだしな。

いつまでも相撲馬鹿やってるのも、なんだかなーって思ってたし。

オレも、第二の人生を考えるのに、早すぎず遅すぎず。
ていうか、絶好のタイミング、かもな。。。

はい。

オレ、鬱病になんですううう。

いつまでも軟禁されてたら、自殺しちゃうかもよおおお。
危ないよお。

オレが自殺でもしちゃったら、相撲界だけの問題に終わらないよ
おお。

国際問題だよおお。

モンゴルの鉱脈資源、日本には配分されなくなるかもよおお。

早くオレを、追放しちゃってくださいよおお。

朗報、待ってまああす

1回目のニュース（後書き）

視点を变えて、たまには社会を見ても、いいでしょ？

2回目のニュース

2回目のニュース

生活保護申請却下「北九州方式」

公務員つて、さ。

お役所仕事とか言われちゃって。

「9t05」のラクチン仕事みたいに思われちゃってっけど。

オイラの勤める北九州市の市役所勤めは、かなーりハードなんだぜ。市民生活課に勤めるオイラにだって「ノルマ」つーもんが、あんのよ。

営業職でもないのに、「ノルマ」って、何なんだよって思っちゃうけど。

オイラ自身も、思っちゃうけど、ね。

オイラに課せられたノルマは。

「生活保護申請者」の、月間削減数、「5人」。

これ、果たせないと、下がっちゃうワケさ、ボーナスとか。

だから、もう必死よ。

妻子もち、住宅ローン持ちのオイラの場合。

これ以上のボーナスカットは、身を切られるのと、おんなじさ。

先月。

無理やり生活保護を辞退させた人が、餓死して半ミイラ死体で発見されちゃった。

大々的な全国ニュースにもなったから、知ってる人も多いだろ？

オイラだって、キュッって、胸が痛んださ。

でも、ほんの一瞬だったよ。

だつて。仕事なんだから。
上からの命令なんだから。

逆らったら、オイラの首が飛んで。

オイラの家族が一家心中つてことになるんだよ。

ノルマが課せられた日から。

オイラは、人の子の部分を捨てた。

「市民」のことは、「北九州」というゲームのキャラだと思つよう
にした。

ゲーム感覚なら、非情になれる。

仕事してないヤツは、味方キャラじゃない。

市民税を納められないヤツは、敵キャラだ。

理詰めという武器を使つて、どんだけぶつ殺せるか・・・。
それが、オイラの、快感となる。

市長が変わつて。

先月の、餓死事件の絡みも合つて。

第三者機関が、生活保護申請のチェックをする、らしいけど。

無駄な話だよ。

法律ギリギリのラインで申請却下させんだから。

足が悪くて病院通いする年寄り。

だけど金がないから、タクシーには乗れない。

公共交通機関の便も悪い。

「だから、自家用車所有の許可を下さい」だつて？
何を甘えてるんだ。

自家用車の維持ができるんだつたら、金持つてるんだろ？
だつたら、生活保護辞退しろよ？

何？

生活保護がないと、死ぬ？

だったら、車、売れよ。

贅沢しながら、保護してもらおうだなんて、どういう神経だ？

生活保護つてのは、な。

明日にでも死ぬかもしれない。

そんな人が対象なんだよ。

車持って、のうのうと病院通いして暮らせるヤツは、保護はいらないだよ。

仕事しろ！！

納税しろ！！

最低限のことができないんなら、人間辞めちまえ！！！！

さーて。

今日は、どこのどいつの生活保護を、打ち切っちゃおうか

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5690c/>

この物語はフィクションです。

2010年10月8日21時18分発行